

「聖霊を豊かにくださる主」

～天国の介入～

「ペテロのことは、人々の心を強く打ちました。『それでは、私たちはどうすればいいのでしょうか。』あちらからもこちらからも、使徒たちへの質問の声があがりました。ペテロは答えました。『一人一人、罪の生活から悔い改めて神に立ち返りなさい。そして、罪を赦していただくために、イエス・キリストの名によってバプテスマ(洗礼)を受けなさい。そうすれば、聖霊という賜物をいただけます。それはキリストが約束してくださったことです。あなたがたは言うまでもなく、あなたがたの子孫、また遠くにいても、私たちの神である主がお招きになったすべての人に与えられるのです。』」

使徒行伝2章37～39節[リビングバイブル]

イエス・キリストのお約束通り、待ち望んでいた弟子たちは天から聖霊によって満たされました。聖霊はキリスト者がイエス・キリストの永遠の救いの福音を全世界に伝えるための上からの力をお与えになるためでした。人間の欲求が満たされるためでもなく、人間の夢がかたうためでもありませんでした。神様の意志を、この人類に知らせるために必要なものでした。

聖霊はご人格を持っておられます。単なる力やエネルギーではありません。イエス様が2000年前にパレスチナで活躍されたように、聖霊がペンテコステの日に注がれて以来、目に見えない霊なる神様が私たち主を信じる者たちを用いて、御業をなされる世界が開かれています。神の霊が私たちの内にいて、また共にいて、働いておられることをもっと意識する必要があります。私たち人間も霊を持った存在です。その霊が肉体の死を迎えた後も、永遠に生き続けるのですが、その霊が神の霊と共に生きる時に、神の栄光が現されるのです。

この世には人間が神の霊と共に働くことを妨げる働きが多くあります。この世の中の働きのすべてが神の霊の働きを妨げていると考えてもいいと思います。この世の考え方は、人間本来の罪の生活、肉(自我)の生き方を満たそうとするものです。それが土台となっています。ですから、私たちはこの神の霊の働きを妨げる世界の真ん中に生きていながら、その生き方ではない、天国の生き方をしなければなりません。そのためには、聖霊様の力が必要です。

私たちは聖霊様のことをもっと知らなければなりません。聖霊様と共に生きなければなりません。聖霊様をもっと体験しなければなりません。それは学問や知識で知ることはできません。最終的には個人的に体験していく必要があります。何よりも飢え渴いて求め続けなければなりません。教会は「祈りの家」です。祈りを通して神様に近づき、神様と共に歩めるようになります。祈りを通してご一緒に聖霊様を求め続けましょう！あなたが神の栄光をあらゆる人生を歩めるように、ご一緒に祈り続けてまいりましょう！